

座間市
市民まちづくり討議会
意見交換結果

平成21年11月

1. ー健康への取組み 安心 健やかなまちー

市民は、自らの健康づくりに励み、ライフサイクルを通じて地域の包括的な保健・医療サービスを受けられることによって、安心して健康な生活を楽しんでいます。

① 生活像を達成するために必要なこと

市民の役割
<p>●自分の健康は自分で守る【健康増進】</p> <ul style="list-style-type: none">・健康診断を受ける。・積極的に歩いたり、運動したり、70歳前後の人たちを対象に医療費、介護費の削減を進めるなど多角的な健康増進プログラムに参加するなど、積極的に健康づくりに取り組み10年の効果を測定して行く。・健康づくりは個人の意識から！自分の健康に責任を持つ(意識がなければ、市が行っているサポートや提供している情報も知ることができない)。・自治体で行うラジオ体操など、地域とのふれあいを通しての活動により心身ともに健康に。・食べ物の正しい情報を把握し、地場産材料を使った手作りの安全な食べ物をいろいろとバランスよく食べる。
<p>●できることは自分たちで行う【健康増進】</p> <ul style="list-style-type: none">・健康増進に向けたボランティア活動に参加する。・地場産の食材を買い「朝市」を各地区で開催する。
<p>●いざというときのための準備をする【医療体制】</p> <ul style="list-style-type: none">・いざというときの対応として、「私を助けてください情報※」や身分の分かるものを常に携帯する。・中核病院がない座間だからこそ、いざというときに大学病院へ紹介してもらえるよう、「かかりつけ医」を見つける。
<p>●ネットワークづくり【医療体制】</p> <ul style="list-style-type: none">・いざというときに助け合える地域ネットワークづくりが重要である。・コミュニティセンター、公民館の利用を増やす(交流機会を増やす)。
<p>●市民が開業医を育てる【医療体制】</p> <ul style="list-style-type: none">・市民が開業医を育てる(いいところを認めてあげる取り組み)。
<p>※「私を助けてください情報」とは、氏名や既往症、かかりつけ医の連絡先、飲んでい る薬等の情報を記入した用紙を冷蔵庫に入れておき、いざというときに迅速に救命救 急活動をできるようにするもの。</p>

行政の役割

●健康増進の機会・場の充実【健康増進】

- ・総合的な高齢者健康増進プログラムとして市の取組みを整理し、対象年齢ごとに健康づくりをサポートして欲しい。
- ・コミュニティセンターを活用した健康増進プログラムを充実して欲しい。
- ・健康のためのいろいろな料理教室を開催して欲しい。
- ・団体スポーツだけでなく、日常的に運動できる身近な場所を整備して欲しい(河川敷や校庭の活用、温水プールなど)
- ・障害者や高齢者は、一般市民と一っしょにグラウンド等の施設を利用することが難しいため、専用の運動施設や市民農園を整備して欲しい。
- ・現在ある総合体育館やプールへのアクセス改善が必要である。コミュニティバスのルートや便数の見直し、電動アシスト自転車助成など。
- ・公共施設の広域利用ができるよう、他市との連携をしてほしい。
- ・子供に対する健康教育の充実(正しい身体の動かし方を教えてほしい)。
- ・朝市をもっといろいろなところで開催して欲しい。
- ・市民からの募集などにより健康料理レシピを広報して欲しい。
- ・座間市は水と緑が文化であり、それらを活用した健康づくりを展開できないか。

●健康診断【健康増進】

- ・健康診断の充実して欲しい(メタボ検診に最近変わったが以前の方が良かった)。
- ・検診の設備内容の充実を図り、場所を一箇所にまとめて欲しい。
- ・特保診断のサービスが手厚すぎる(自己責任の範囲で管理する部分もあるのでは)。

●情報提供の充実【健康増進】

- ・健康増進のための教室やサークル活動の支援及びPR・周知をして欲しい。
- ・定期健診のお知らせをわかりやすくして欲しい。

●医療体制の充実・連携推進【医療体制】

- ・周辺自治体に医療施設があるため、大きな問題は生じていないが、大学病院、総合病院を誘致するなど、医療体制の一層の充実を期待する。特に、救急医療体制の充実を希望する。
- ・検診を他市の病院で受けられるようにするなど、広域的な連携体制が必要である。
- ・「医食住」を兼ね備えた座間駅前再開発を提案する(バス路線が充実している座間駅前、クリニック、食事のできる商店街、住居を備えた再開発を行うことを提案する)。
- ・開業医が開業したくなるまちにして欲しい(補助制度をつくるなど)。
- ・市が契約し訪問医を仲介するようなシステムを構築したらどうか。
- ・市内の既存病院の医師不足が発生しないよう支援する。
- ・高齢者の病院対策も根本的に見直す。

●市民活動・地域活動の支援【医療体制】

- ・孤独死や独居老人対策として、市民の地域ネットワークづくりのサポートして欲しい。

●無保険者への対応【健康保険】

- ・医療保険に入れない方々へのサポートがどのようになっているのか。

●感染症対策の充実【保健衛生】

- ・水害時の感染症対策を充実して欲しい。
- ・公共施設でのインフルエンザ対策。
- ・院内での感染を防ぐために、予防接種を病院以外で受けられるようにして欲しい。

2. ー自立 めくもり 支えあうまちー

市民は住み慣れた地域社会のなかで、自立し、互いに助け合い、支えあって、生涯を通して健やかに暮らしています。

① 生活像を達成するために必要なこと

市民の役割
<p>●地域の福祉の輪を広げる【地域福祉】</p> <ul style="list-style-type: none">・福祉サービスの利用者、ボランティア、事業者など、各々が相手を理解し尊重する。・気軽にご近所同士が話しをできる仕組みをつくる。・自分の得意とする分野のボランティア活動や地域活動に積極的に参加する。・ボランティアをはじめ多様な市民が集まる会合に参加する場合は、お互いに「いいところ探し」をする気持ちを持つ。・地域毎に、それぞれの地域に適したほど良い市民間の間合いを見つけ出すよう、各々の市民が工夫する必要がある。・社協などもボランティアを育成する仕組みづくりに積極的に取り組む。・有償ボランティア、利用料を支払う福祉サービスについて、正しい認識を持つ。
<p>●福祉情報を広める【地域福祉】</p> <ul style="list-style-type: none">・市の施策や福祉サービスなどの情報を勉強し、困っている人に積極的に情報を提供する。・ボランティア活動の情報収集を積極的に行う。・ボランティアを必要とする団体などは、積極的に、より大々的に広報活動を行う。
<p>●独居老人の安否確認を行う【高齢者福祉】</p> <ul style="list-style-type: none">・独居老人は、一人暮らしをしていること意思表示する。・自治会で独居老人に定期的に電話する仕組みなど、安否確認と地域内のつながりを意識できる仕組みをつくる。・独居老人の安否確認を地域で行うため、市民は些細な事(郵便物の溜まり 具合確認)でも良いのでボランティアとして参加する。・独居老人の異変などに気がついた場合、市民が気軽に報告できる地域の仕組みをつくる。・民生委員、自治会等が連携し合い、独居老人への対応を行う。
<p>●高齢者コミュニティを活発にする【高齢者福祉】</p> <ul style="list-style-type: none">・ケアマネージャーなどに限らず高齢者に接する人達は、高齢者を人の輪に引き込むよう常に声かけを行う。・定年退職後には、家に閉じこもらずに積極的に地域にデビューする。
<p>●自立した暮らしを続けられるようにする【高齢者福祉】</p> <ul style="list-style-type: none">・老いて動けなくなる前に、要介護とならぬよう何をするべきか意識を持ち考え行動する。・サニープレイスで行われている介護予防体操の出張サービスを各地域で開催するなど、地域に介護予防を推進するコーディネート役を設ける。・動物に関わる団体はアニマルセラピーの普及に活躍して欲しい。
<p>●障がい者の自立を支援する【障がい者福祉】</p> <ul style="list-style-type: none">・多くの市民が集まる会議などは、障がい者にも配慮した運営を行う必要がある。また手話ボランティアとして活躍できるよう手話にも興味を持つことが望まれる。・小さい頃から障害者と交流する機会を意識的に持つ。
<p>●地域で子育てを支える【子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもを一時的に預かるなど、育児ボランティアにも積極的に参加することが望まれる。

行政の役割

●活発な福祉ボランティア活動を支える仕組みをつくる【地域福祉】

- ・ ボランティアを育成する仕組みづくりを市民、社協などと一緒に構築する。
- ・ ボランティアの楽しみを増やし活性化させるよう、ボランティアをした人にポイントがたまり、そのポイントでサービスを受けられるようなボランティアポイント制度（永久ポイント化など）を創設する。
- ・ ボランティアポイント制度は、全国の団体ごとに異なる仕組みを統一して（マイレージポイントのようにして）広域的に使えるしくみや、他所の人が来て座間市でボランティアをするとポイントをためられるという仕組みなど多角的に検討すべき
- ・ ボランティア活動をしたい人達が興味を持てるボランティア活動に参加できるよう、ボランティア活動の情報を周知する。
- ・ 市民にボランティアの取り組み方、種類などの情報を発信し、市民の教育訓練を進める。

●民生委員活動の支援【地域福祉】

- ・ 民生委員が大変忙しいため、民生委員自体を増員するか、民生委員を補佐する人を設置する制度を構築する。

●福祉情報の適切な発信【地域福祉】

- ・ 転入者に対し、市の福祉施設や福祉サービスがわかる資料一式を用意し渡す。
- ・ 市の福祉施策や市民団体の活動など、福祉サービスを紹介する広報を充実する。

●市民・民間の取り組みを適切に誘導する【高齢者福祉】

- ・ 市は、民間企業が高齢者福祉事業を行う際にも公的なバックアップや保証を設ける。
- ・ 市は、高齢者が安心できるよう民間福祉サービスのバックアップができ無い場合は、公的老人ホームや公的配食サービスを行う。
- ・ 介護予防の講習会を地域で開催できるよう支援する。

●安心できる老後を保証する仕組みをつくる【高齢者福祉】

- ・ 市は、モーゲージ型（住宅・土地担保）による死ぬまで安心した暮らしを保障する制度を構築する。

●いつまでも座間市で暮らせる仕組みをつくる【高齢者福祉】

- ・ 少子化により発生する空教室を老人施設（できれば入所施設）に転用する。

●独居老人が安心して暮らせる仕組みをつくる【高齢者福祉】

- ・ 市の高齢者施策について積極的に情報発信し、独居老人の緊急時の不安を解消できるようにする。
- ・ 緊急情報システムを現在の制度の対象者以外にも活用できるように拡充する。また、身に付ける携帯式のシステムとする。
- ・ 独居老人に安否確認の電話をする仕組みなどを自治会が実施する際には、市役所は音頭をとって行う。

- ・ 普段表に出てこない独居老人をコミュニティの場に呼び出す仕組み(お弁当券を配布して寄り合いを行うなど) を構築する。
- ・ 入谷小学校で行っている 障害者との交流の活動を全市に広げる。

●介護認定事務窓口の充実【高齢者福祉】

- ・ 介護認定の認定に関する事務を早期に行う、また介護等に関する窓口の一本化を市で行う。

●障がい者が安心して暮らせる環境をつくる【障がい者福祉】

- ・ 高齢化する障がい者の保護者が安心して年をとれるよう、障がい者の受け皿や人的支援の仕組みを構築する。
- ・ 障がい者の散歩コースのバリアフリー化などをはじめ、市内をユニバーサルデザインの発想で見直す。
- ・ 市は、施設の最終的な管理者として、障がい者に配慮したイベント や事業が行われるよう、利用する業者等と契約する。
- ・ 手話ボランティアなど、障害者の自立を支援する人材を育成する。
- ・ 公共施設の利用時をはじめ、多くの人に参加できるイベント や事業を行う 際、車椅子料金や介助の必要性を明確にし、障がい者の介助者の利用料を無料にするなど、障害者に配慮した運営を行う。

●働きながら子育てできる環境をつくる【保育支援】

- ・ 駅の近く、利用しやすい場所に保育施設の開設を誘導する。
- ・ 子どもを安心して生み育てられ、経済的にも 配慮された保育環境を確保する。

●支え合う子育て仕組みをつくる【子育て支援】

- ・ 母親達の集まりに育児のプロフェッショナルな人を派遣し、子育てで孤独にならないような支援を行う。
- ・ 働く 両親の子育て支援として、中学校のお弁当有料配食を行う。

●支え合う子育て環境をつくる【子育て支援】

- ・ 早朝保育の場となっている 児童館が狭く古い。建替えや修繕を計画的に行って欲しい。

●セーフティーネットを機能させる【生活困窮者対策】

- ・ 父子家庭の生活困窮や子育て支援などにも 取り組む。
- ・ 生活困窮世帯などの子ども 達には、食育の観点からも 小学生の朝給食を行う。
- ・ 外国人の生活困窮者の実態を把握し、適切に対処する。
- ・ 生活保護の給付金に厳密な審査を(年金より 高額なのはおかしい。)
- ・ ホームレス対策を考えてほしい。

3. ーとともに考え ともに歩む 安心のまちー

市民相互や市民と行政との連携により、多くの市民が各々の個性を生かし、まちづくりの
主役として活躍することで、市民生活が豊かになっています。

多様な地域コミュニティが活性化し地域の連帯感が増すとともに、防災・消防体制が整う
ことで、安心して生活できるまちになっています。

市民は、生活する上で様々なトラブルに巻き込まれること無く、また、差別や偏見が無い
地域社会で安心して暮らしています。

① 生活像を達成するために必要なこと

市民の役割
<p>●市政に関心を持つ【市政広報】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 広報や回覧板など提供される情報をしっかり確認する。・ 市が取り組む事業・計画を市民が興味を持って勉強し、積極的に意見を述べる。<ul style="list-style-type: none">・ (市民団体など) 市民が情報資産をもっと活用するとともに、市政情報全般についての的確に監視するべき。
<p>●積極的な自治活動【コミュニティ活動】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自治会に積極的に加入・参加する。・ 自治会の必要性やメリット、デメリットを明確化し、自治会に対する認識をあらためる。・ 高齢化社会に対応するため、自治会を積極的に活かす。・ 自治会役員の負担を軽減する。・ 魅力ある自治会づくり。・ 自治会などで何か催しなどをするために、日頃からコミュニケーションを図る。・ ごみ出しはマナーを守る。・ 近所の人々とあいさつしあう。・ コミュニティバザー等での野菜等地元の物を利用してほしい。・ 自治会の役員活動を楽にすることで加入しやすく活動しやすい雰囲気をつくる。・ 市民は自治会活動に積極的に参加する。自治会は参加しやすい雰囲気づくりに努める。
<p>●地域コミュニティ活動への参加【コミュニティ活動】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地域でサロンをつくり、コミュニケーションを図る場として活用する。・ 自治会は、近所の市民が顔をあわせる機会を工夫し、多く開催する。・ 市民は、近所の人達が顔をあわせる機会に積極的に参加する。
<p>●NPO・ボランティア活動の活性化【NPO活動】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市民は、自らが何をできるか、自らの能力が生かせる取り組みを意識する。・ 市民は、市に頼らずに自分達から行動を始める姿勢が必要。・ 多くの市民が参加できるよう、市民活動団体は公共性の高いイベントや活動に政治色を出さないようにする。・ 市民活動団体は、過去からの慣習や形式にこだわらずに運営する必要がある。

●多様な参画機会をつくる【市民参画】

- ・住民の意識の薄さを改善する。
- ・苦情や要望などはその都度市に意見をする。
- ・様々な行事へ参加する。
- ・人材バンクを創設する。(得意分野のある人の情報収集、市民テンプスタッフ、シルバー人材センターの改善、能力のある老人の活用)
- ・高齢者がいろいろな場所に顔出しできる様にする。
- ・まちの美化を心がける。(ごみの分別や公園のごみなどを座間市民として一人一人が自覚を持って行う)

●身近な取り組み【防災対策】

- ・身近な防災訓練をもっと開く。
- ・災害時の独居老人の安否確認や広域避難場所への搬送などを地域ができるよう、行政の支援のもと自治会が名簿を作成する。

●日ごろの取り組みで犯罪を防ぐ【防犯】

- ・子どもの登下校身守りなど防犯パトロールに協力する。
- ・自警団などを作る。(腕章などをして三人一組になって各地区に配置)
- ・普段の買物等を利用して防犯に協力する。
- ・犬の散歩の際に防犯の腕章を付けてもらう。
- ・イスを町中に置く。(マンション前、アパートの前、子どもの通学路、坂の上)

●外国人との交流【人権・平和】

- ・外国人とのコミュニケーションの努力。(偏見のない社会)
- ・外国人(キャンプ座間含む)に対しても心を開き、仲良く生活をする。

行政の役割

●一人ひとりに情報を届ける【市政広報】

- ・新聞をとっていない世帯への広報の周知方法の開拓
- ・広報ざまを各戸に行渡らせる。
- ・「ざまっぷ」を紙ベースでお年寄りにも読めるようにする。
- ・コミュニティバスを分かりやすく広報する。
- ・市長への手紙などに必ず返事をする。
- ・母親同士が育てあう交流の場を作り、子育てのしやすい町としてPRする。
- ・座間の案内地図を統一(名所・公園案内、民間バス・コミバス停の表示、バスコースの表示)して作成するとともに、ホームページに同様の検索マップを設ける。
- ・市内にある啓発用の看板等がまったく更新されていない、必要性も含めて見直しも必要ではないでしょうか。原水爆等のモニュメントも必要以上にあるように見える、市役所に旗でも立てればPRとしては十分ではないか。
- ・どの施策に対しても共通してPRが不足している。充実を。

●広報活動【市政広報】

- ・地区毎の待機児童数の情報を公開するなど、市民が正確に政策を判断できる情報を具体的に発信する。
- ・市役所として何をしているか、様々なメディアを活用するなど市役所自体のプロモーション活動を充実する。
- ・苦情・要望をする部署やシステムについてももっと啓発してほしい。
- ・市民の声を市政(協働)に取り入れるシステムを整備してほしい(例:小学生の帰宅時の防犯システムに年配者ボランティアを活用するシステムなど)。
- ・討議会の開催にあたって、現役の意見を多く聞くために商店主など多様な人々が参加できる土日又は夜間の開催検討も必要である。
- ・広報や生涯学習ハンドブックなどは良くできているし、市としてさまざまな取組みも行っている。しかしながら、それらが市民に伝わっていないことが問題であり、広報活動の工夫が必要である。
- ・メールマガジンによる定期的な情報発信を行って欲しい。

●自治会活動の支援【コミュニティ活動】

- ・自治会の勧誘活動を行う。
- ・自治会等の活動状況、情報を広報や市のHPなどを活用して広報する。
- ・自治会の必要性を明らかにし、入会するメリットを感じられる工夫をする。
- ・自治会が再生に向けた活動をする際に、その適切な誘導を行う役割を積極的に行う。
- ・地域活動を支援する際、地域の実情に即した機能する支援を行う。
- ・自治会の加入促進と活性化の仕組みを構築する。
- ・新しい転入者に、自治会の加入手続きをどこで行えばよいかなど情報の充実を図る。
- ・あいさつ運動推進のバックアップ。
- ・うまく稼働している自治会の例を市役所で集約し、他の自治会へ情報提供を行う。

●地域コミュニティ活動への参加【コミュニティ活動】

- ・どのようなコミュニティ活動がどこで行われているかの広報を強化する。

●市民参加の支援【市民参画】

- ・有償ボランティアの推進
- ・いろいろな分野の活動や行事のボランティア活動の支援や募集、応募窓口対応。
- ・昔行われていた、住民の市や地域への貢献度を評価して玄関先に表示するような制度を現代に合う形で工夫する。

●ネットワーク強化【NPO活動】

- ・各ネットワークどうしのつながりを強化する。(防災、子供会と老人会など)
- ・市の催しを増やし、平日夜または土日開催する。
- ・市役所とNPOとのタイアップ等で、何が出来る(市民参加)などの情報提供を受けられるようにする。

●NPO・ボランティア活動の活性化【NPO活動】

- ・市は、市民が自ら持つ能力を発掘し気付くきっかけの場をつくる。
- ・市は、共助の強化を進める仕組みを構築する。

●多様な主体との連携・実態にあった訓練【防災対策】

- ・市内の事業所と災害時の防災協定を結んで欲しい。
- ・米軍との災害協定、相互応援体制の確立。
- ・必要なものが必要ところへ行渡るように災害備蓄等の状況確認の徹底
- ・主婦や高齢者がかりとなる日常平日昼間を想定した防災訓練の実施
- ・防災に関する身近で具体的な情報を自治会などを通じて教えてほしい。(何日食事が持てばいい、市役所はどこまでできる、など)
- ・災害の際の避難所となるよう広い空き地を確保する。
- ・防災無線がよく聞こえるようにしてほしい。
- ・災害時に使用する避難所に井戸を設置してほしい。
- ・独居老人との連絡方法(情報把握)を確保してほしい。
- ・災害時用として、避難所に設置する井戸堀を市民参加により行なう。

●人的・物的環境整備【防犯】

- ・警備、防犯の有償ボランティアを募集
- ・暗い通りが多いので街灯、防犯灯を増やすとともに、防犯に効果的と言われる青色に変える。
 - ・車に貼る防犯のステッカーを市が用意する。
- ・防犯面の強化のため自警団を組織する。
- ・地域住民による見守りを推進し地域の目があることを印象づける。(小学校の下校時の見守り運動の拡大版をイメージ)
- ・小学生の帰宅時の防犯システムに年配者ボランティアを活用する。
- ・入谷駅周辺の田んぼには街灯がまったくないので設置してほしい。
- ・座間高校の付近にチカンに注意の看板が立っているが、観光客なども訪れる場所となっているので、看板ではなく街灯や防犯カメラなどの整備をして欲しい

●自治会との連携【消防】

- ・災害時の自治会と消防団との連携強化。

●姉妹都市・在住外国人との交流【国際交流】

- ・姉妹都市をもっとPRする。
- ・座間に在住の外国人との国際交流イベントをコミュニティセンター等で開く。

●騒音対策・相互理解【基地対策】

- ・基地の騒音対策についてもっと力を入れて取り組んでほしい。
- ・騒音(厚木飛行場)の制限
- ・キャンプ座間の一般開放を増やす。
- ・日米(キャンプ座間)交流のためのレクリエーション、文化交流などの充実

4. ー豊かな心 明日への希望 育み合うまちー

市民は個性を尊重し、社会の一員として自立と共生の中で学びあい、知・徳・体の調和の中で伝統・文化を重んじそれぞれのライフステージにおいて教育の向上を目指し、豊かな心を育み、その結果を生かし、社会形成に主体的に参画する協働のまちづくりの中で豊かな生活を送っています。

① 生活像を達成するために必要なこと

市民の役割
<p>●市民ボランティアで教育を支える【教育環境】</p> <ul style="list-style-type: none">・小中学校で取り組むCO2の削減のための緑のカーテン作りや、遊具(ジャングルジム)づくりなどボランティア活動への参加。・学校のキャンプや林間学校に、野外活動に詳しい人のボランティア参加。・人材を掘り起こして、地元の方が児童に田植え、稲刈り、餅つきなどを授業の一環として教える。・登下校時に通り角にボランティアが立って見守る。
<p>●幅広い年代の交流【生涯学習】</p> <ul style="list-style-type: none">・母親だけ老人だけといった集まりが多いが、生涯学習の一環として、年齢や立場を超えて交流を図る場を作る。・60～80歳でどうやって有意義に過ごせるか常に意識しておく。・市民大学に通ったり、講座を受けて、文化的に豊かに過ごす。・パソコン、インターネットのレンタル貸し出し。
<p>●家庭でのしつけ・豊かな体験【青少年育成】</p> <ul style="list-style-type: none">・市街化区域の農地を芋ほり農園として、子供たちに芋ほりを体験させることにより豊かな心を育てるべきである。・他人の子供も勇気を持って注意する。・子供はしかられた経験が不足しているので、家庭でのしつけをしっかりとする。

行政の役割

●教育環境のゆとり・市民との交流連携【教育環境】

- ・ 学校の備品費の増額。
- ・ 教員が忙しすぎるので、もっと教員の数を増やす。
- ・ 学校でもしっかりと子供をしかる。
- ・ 小中学校の児童生徒と中高年が意見交換する機会を設けて欲しい。
- ・ 父兄と学校が連帯感を持って、いじめの解消に取り組んで欲しい。
- ・ 母親がいない家庭の子なども通学しやすいように中学にも給食が必要。

●学校教育の役割の明確化【教育内容】

- ・ 自転車のマナー教育を市は市民と一緒にやって欲しい。
- ・ 着衣のまま靴を履いて泳ぐ経験を学校でさせる。(水の怖さを知る)
- ・ 学校は知識を教え、しつけは家庭で教える所、役割を明確にして取り組むべきである。
- ・ 学校教育は親の目線でなく、子供の目線で行う。
- ・ 教育の本質は相手を思いやる心だと思うので、教育現場で徹底して欲しい。
- ・ 小学校で挨拶やしつけを行うべきである。(挨拶運動など)

●施設の有効利用【生涯学習】

- ・ 公民館の利用申し込みをインターネットで出来るようにして欲しい。
- ・ コミセンを多くのグループが使えるように、利用目的を明確にすべき。
- ・ 市民がIT技術を身に付けることは行政にもメリットがあるので、資格をとる場合に市が支援する。
- ・ 生涯学習の一環で様々な分野の講演会を2ヶ月に1回程度行って欲しい。
- ・ 生涯学習の冊子も市民に浸透させる工夫が必要。
- ・ 児童生徒が少なくなってきたら空き教室の利用を考えるべき。

●図書館【生涯学習】

- ・ 移動図書館の充実、図書館の夜間営業、蔵書の充実など図書館を充実する。

●サークル活動【生涯学習】

- ・ 夕方からのサークル活動も充実できるようにする。

●文化材の活用【生涯学習】

- ・ 市内の史跡めぐりなど案内ボランティアの活用検討。

●【市民文化】

- ・ 入谷歌舞伎のような、すばらしい郷土芸能を市が支援すべき。
- ・ 高齢者が増えているが、地域ぐるみで芸術や文化にどっぷりつかれる町にして欲しい。
- ・ 市には美術館がないので、ハーモニーホールや市役所の空き部屋を代替拠点として活用すべき。
- ・ 市の文化活動に対する広報PRの充実して欲しい。

●【スポーツ・レクリエーション】

- ・ 谷戸山公園の付近に市にお茶やお菓子が出せるような休憩施設を造って欲しい。
(接客等は市民ボランティアで対応)
- ・ スポーツや昔の遊びを子供たちに教えるボランティアの登録制度の整備。
- ・ イベントに参加するための交通手段の工夫。
- ・ 校庭の開放はサッカー、野球以外にも公平に行う。
- ・ 市民プールが必要、市は水泳はじめ各種スポーツの選手権大会を開いて欲しい。

5. ー安全 憩い 快適なまちー

市民は、安全で環境負荷の少ない交通環境、安心して住み続けられる居住環境、市民が集い、憩うことのできる空間が確保され、快適な都市生活を営んでいます。

① 生活像を達成するために必要なこと

市民の役割
<p>●歩行者・自転車の安全【交通安全】</p> <ul style="list-style-type: none">・新興住宅地内の道路内で子供を遊ばせているが車が進入し危険な状況なので、安全確保の取組みを進める。・歩道での自転車事故防止のため自治会・ボランティアによる歩道の交通整理。
<p>●市民の関り【公園・緑地・広場】</p> <ul style="list-style-type: none">・子供会、自治会を通じて公園遊具更新に関する意見を出す。・公園の維持管理に関するボランティア活動。・市有地を活用した花壇整備や朝市・農家レストランなどのボランティア活動を実施・ひまわりを各家庭の庭先に植えるなど、花と緑のまちづくりを進める。
<p>●住民の関り【道路整備】</p> <ul style="list-style-type: none">・住民による花の育成(沿道への花植え等)

行政の役割
<p>●ハードソフト両面の安全性確保【交通安全】</p> <ul style="list-style-type: none">・車と自転車との接触事故が多い市道1号線坂道の交差点における安全対策の推進・交通量が多い通学路には緑のおばさんを配置。・スクールゾーン表示及び標識設置を拡充。
<p>●公共交通の利用を促す環境整備【公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none">・市内のバスルートは、本数が少なく利用しづらいため充実を望む。(特に朝の通勤ラッシュ時)・市内名所(公園・河川・湧水箇所等)巡回コースの開設。 (季節限定で花めぐり、水めぐりコースの開設。お弁当付で1000円ぐらい。 観光バスではなく通常のコミバスを活用)・大風祭りやひまわり祭りの無料バスのPR・北向こう申堂を通る電車を走らせてほしい。・小田急線の駅が急行停車駅となるように働きかける。・駅(相武台)とハーモニーをつなぐ有料シャトルバスの運行を行う。・路線バスの本数が少ない、バスベイをしっかりと確保して渋滞の緩和につなげる。

●コミュニティバス【公共交通】

- ・市民が活用しやすいよう、市民の意見を聞き入れバス停・路線・運行時間などを見直す。
- ・コミュニティバスが気になっているが、実際には便数や路線等の問題から利用したことがない。高齢化社会を前にして、一層の利用促進が必要である。利用者増、便数増といった好循環につなげる必要がある。
- ・コミュニティバスの需要を喚起する積極的なPR活動を行う。
- ・市民の大半は高齢者専用の無料バスと思っているので利用方法をもっとPRする。
- ・コミュニティバスのバス停に（特に拠点となる市役所バス停には）ルート表示看板や乗車ルールの記載看板を設置。
- ・市役所内にコミュニティバスへの誘導表示設置。
- ・市役所内でコミュニティバス乗車案内アナウンスを流す。
- ・コミュニティバスの運行時間を市の行事の時間に合わせてほしい。
- ・コミュニティバスの停留所を市のマップに掲載する。
- ・コミュニティバスは費用対効果を踏まえて、廃止を含め見直しをすべき。
- ・コミュニティバスの諸問題は別に専門会議を開催。
- ・コミュニティバスが地味。もう少し目立たせることで、乗車率も上がるのでは。

●大規模開発のルール【市街地形成】

- ・マンション等大規模開発に対してルール作りが必要。（緑道、歩道の設置と連続性確保）
- ・市街地形成ビジョンをしっかりとする。
- ・景観を考慮し、景観を損ねる建築は許可しない。

●選ばれる住みやすい座間市づくり【市街地形成】

- ・座間市に住もう、住みたいと、選ばれるよう工夫をする。
- ・市役所周辺に市民が集まる施設（公共・民間）を誘致し、まちの核づくりを進める。
- ・景観を考慮して自然を守った上で、住宅の供給とか、マンションの供給とか出来るように長期的な視点で住みたい人が住み続けられる住環境の選択肢を広げて欲しい。
- ・良好な都市環境形成上望ましくない商業施設の立地に対する規制誘導の実施等による駅周辺等市街地の健全な環境整備

●身近で豊かな環境の充実【公園・緑地・広場】

- ・公園遊具の更新・撤去等は住民説明を行ったうえで。
- ・公園と緑関係のネットワーク図が欲しい。
- ・座間市は自然豊かなまちであるため、これら情報を積極的に活用すべき。
- ・企業の工場（プロロジスパーク）に「緑や広場」があり潤える環境が見られる、市民にも開放してほしい。
- ・東原の桜伐採跡が花壇になっている。今後も緑化事業を継続
- ・観光地整備（湧水整備・ひまわり広場・公園等）
- ・大きな公園には売店を設置。
- ・全ての公園・広場に街灯設置。
- ・自然豊かで貴重な空間である相模川の河川敷の積極的な整備と管理。
- ・谷戸山公園内道路舗装は自然の土のままとする。（細部まで自然を残す。）
- ・谷戸山公園内の道路舗装を高齢者や車椅子でも利用しやすいように整備するとともに、

高齢者や子どもが使いやすい芝生広場なども整備するようよう 県に要望

- ・ 子供がのびのび遊べる広場・遊び場を確保する。
- ・ 相模が丘なかよし小道の整備(小川を流して)
- ・ 相模が丘市民球場の有効活用
- ・ 緑地保全として遊休農地を利用し、一般者にコメ作りを行なわせるなど、農業を支援する。
- ・ 崖地や農地での緑地保全に取り組んで欲しい。
- ・ 地価が高く公園用地確保が難しいと思うので、崖地や荒地などを先行取得しておくということも考えるべき
- ・ 谷戸山公園の池の水質改善が必要である。
- ・ 番神水公園などを利用してきれいな水をアピールする。
- ・ サンパチェンス(CO₂等を通常の植物より8倍も吸収する)の種を全市民に配り緑化推進のため植えてもらうよう呼びかける。
- ・ 近隣住民による公園の管理、整備を行う。
- ・ ボランティアの参加による公園づくりの工夫。
- ・ 公園や市民農園など、多様な利用実態合わせた整備をする。(農園の灌水など)

●墓地【公園・緑地・広場】

- ・ 高齢化が進む中、公的墓地を整備する。

●人と車にやさしい道 【道路整備】

- ・ 市の案内地図に統一が無く、利用しづらい(コミバス停留所の案内図は大まかで場所の特定ができない)
- ・ 相武台前駅北側ロータリーが狭く、利用しづらいので改修して欲しい
- ・ 座間駅内ロータリーの拡張整備。
- ・ 市道5号線相武台1号踏切手前の道路の歩道整備。
- ・ 道路が狭く歩行者が危険なので片側だけでも(基準以下の歩道幅でよいので)歩道を設置してほしい。(歩行者視線)
- ・ 車椅子や利用者等に配慮し、歩道の段差解消や歩道の車道側への傾斜の解消を行う
- ・ 起伏が激しく移動が困難、改善を図る必要がある。
- ・ 道が狭すぎて対向車とすれ違えないので車道幅を(車両視線)
- ・ 市外からのお客も多い相武台前駅からハーモニーホールまでの案内を分かりやすくする。
- ・ 目久尻川脇の道路について、歩道を設置してほしい。(市道15号線)
- ・ 街路樹の伐採は住民説明を行ったうえで行う。
- ・ 側溝清掃の回数を増やす。
- ・ 道路整備予算を大幅に増額すべき
- ・ 座間駅前の交通渋滞の解消のための整備
- ・ 相模が丘地区と谷戸山公園の中間点に「道の駅」のような休憩所がほしい。

6. ーおいしい水 安全な水 衛生的なまちー

市民は、安全でおいしい水の供給を安定して受けています。また、下水道の適切な維持・管理により、衛生的な生活が営めるとともに、大雨の時でも浸水などの被害が少ないまちになっています。

① 生活像を達成するために必要なこと

市民の役割
<p>●水道事業【上水道】</p> <ul style="list-style-type: none">・市民は座間の水道事業を理解する
<p>●浸水被害対策の理解と実践【下水道】</p> <ul style="list-style-type: none">・住宅敷地内に雨水浸透柵を設置する。・雨水処理の方法を認識する。・家庭での雨水浸透率を上げるため、コンクリートにする場合、浸透性のある構造とする。
<p>●上下水道施設の維持管理への参加【上水道】 【下水道】</p> <ul style="list-style-type: none">・施設の維持・管理について、地域市民と共に体制を創る。
<p>●下水道事業に対する理解を深める【下水道】</p> <ul style="list-style-type: none">・将来の下水道のあり方(健全運営)を考えると、市が説明責任を果たす中で、料金改定などの個人負担を覚悟する必要がある。・市が提供している水道・下水道事業の各種データを確認し、取り組み事業を認識する。・大切な川を汚さないために、地域ぐるみで下水道接続率 100%を目指す。
<p>●水質の保全【上水道】【下水道】</p> <ul style="list-style-type: none">・油を固めて捨てるなど汚い水を流さない工夫をする。・湧き水を大切にするため、日頃から周辺にゴミを捨てさせないための監視活動(市に通報)を行う。・湧き水の大切さについて、家庭内で教育する。・湧水の周辺環境について、清掃ボランティアなどの体制づくりが必要・地下水涵養のため、不法投棄を発見したらすぐ市に通報する意識をもつ。・相模川沿いの清掃活動に参加する。
<p>●節水対策【上水道】</p> <ul style="list-style-type: none">・ガーデニングなど雨水を利用する。・節水こまを利用するなど、節水の工夫をする。・風呂の水は、洗濯水や庭木への水やりに転用する。・おいしい座間の水は、冷やして飲む。・雨水と風呂水を集めて庭木や洗車水に転用できる個人の施設を普及する。

行政の役割

●おいしい水の安定した提供【上水道】

- ・座間のおいしい水を将来にわたり 確保する。
- ・ペットボトルの座間の水の販売、PR する。
- ・市の水道供給について、地下水割合を現状よりも多くして欲しい。
- ・地下水による安全な水を確保するため、道路の浸透舗装化を推進して欲しい。
- ・座間の水はたいへんおいしいので地下水資源保全事業を継続して欲しい。
- ・鈴鹿・長宿地区のような湧水整備箇所をどんどん増やして欲しい。
- ・湧き水を保全するため、ゴミ 投棄対策など管理面を工夫して欲しい。
- ・地下水保全のため、新規工場の進出に際し、節水指導をして欲しい。
- ・湧水周辺の環境整備を行う。

●節水対策【上水道】

- ・地下水保全のため、水道メーターで水圧を落とすなど、水道の水圧を低くし、水道事業者自ら節水対策を講じて欲しい。
- ・節水装置に対する補助制度を創設して欲しい。

●水道事業【上水道】

- ・市役所は水道事業の健全経営に努める。

●情報提供・意識啓発の充実【上水道】 下水道】

- ・市が提供する水道・下水道事業の各種データの広報 PR を充実する。
- ・水の大切さについて、もっと学校の教育に取り入れて欲しい。
- ・浄水器など悪徳業者への対応、防止の広報を強化する。
- ・子供を含めた市民が、もっと水道・下水事業の仕組みについてわかる説明会や見学会を開催する。
- ・ホテルの住むまちをもっとアピールする。
- ・芸能人の「さかなくん」を呼んで、子供達に川の自然の大切さに興味をもたせる。
- ・座間の水の PR として、夏場などに他の天然水と飲み比べができる催し物を開催する。
- ・公営企業の経営なので、水道料金、下水道料金でまかなっているのだということを折に触れてアピール。

●下水道接続率の向上【下水道】

- ・公平性を保つ中で、下水道接続促進のための補助制度を創設したらどうか。
- ・下水道接続促進のための PR を行う。

●浸水対策の充実【下水道】

- ・雨水貯留施設への補助制度を創設したらどうか。
- ・雨水浸透柵の設置促進のための PR をしたらどうか。
- ・水害のないまちとするため、豪雨対策として雨水管整備を早期に実施して欲しい。
- ・河川下流域での浸水被害を抑制するため、雨水量調整のための遊水池を整備して欲しい。

●排水施設の有効活用【下水道】

- ・開渠排水施設上の有効活用。

7. ー環境との調和 暮らしの活力 持続可能なまちー

市民や事業者は、世界的な地球温暖化への取り組みや、ごみの分別や減量化・資源化など環境負荷の軽減に積極的に取り組み、自然と調和した良好な環境を形成しています。

産業においては、個々の経営が安定していることはもとより、農商工連携のもとで地域資源や観光資源の活用などにより、地域経済の活性化が図られるとともに、安定した雇用と福利厚生などにより、充実した生活環境が維持されています。

① 生活像を達成するために必要なこと

市民の役割
<p>●環境の美化【環境保全】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 美化デー以外にごみ拾い等を実施する。・ 自動販売機を設置させる場合は、ごみ箱も必ず設置させる。・ 空き缶ポイ捨てに対するマナーを向上させる。
<p>●ゴミの分別やりサイクルに取り組む【資源循環型社会】</p> <ul style="list-style-type: none">・ ゴミ出しに対する意識が低い市民もいる。分別などのルールを各家庭でも実践していく必要がある。・ 生ゴミのリサイクル(各家庭でできる範囲で埋めたり、肥料として使ったりする)。・ ごみ集積所にビン・カンなどをさらに細かく分別する。・ 民地の借り上げなども視野に集積所用地を確保や場所の見直し等により、安全面と環境面の対策を行う(しっかり蓋ができるものが好ましい)・ ごみ集積所の相互協力(カラス対策として蓋付集積場を自治会枠を超えて利用)
<p>●地域産業の活性化に貢献する【商業】【農業】 工業】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市民団体などから名産品を出す(ロコミの力など)・ 地消の意識をもつようにする。・ 市のPR方法に関する市民討議会を行う。・ 市民がより良い場所で気軽に行けるようなショッピングセンターの誘致。・ 各地区商店街の振興。

行政の役割

●低炭素社会の実現に向けて【環境保全】

- ・電気自動車の導入など、環境にやさしい交通体系、交通を促進する（できれば数値目標も定める）

●資源循環型社会に向けての取組みの充実【資源循環型社会】

- ・ゴミ置き場によってはボックスやネットを採用しているところもある。景観の面からもそのような改善が必要である。
- ・ゴミ出しに関して、日数や出し方について見直して欲しい（プラゴミが週一回では少ない）。
- ・市でエコの一環として家具修理の業者仲介をして欲しい。
- ・ゴミ排出量を抑えるため、減量の目標数値を多く設定してほしい。
- ・ゴミのリサイクル率を上げて全国トップ10を目指したらどうか。

●環境の美化【環境保全】

- ・犬の散歩がしている人がしっかりとマナーを守っていないので、行政として規制やルールの厳格化を行って欲しい（その他シルバーを使った見回りなども行ってみたい）。
- ・野良猫等の対策。
- ・美化デーを明確にPRし、カン・ビンの回収箱を設置してはどうか。
- ・美化デーで集めた缶・ビンを回収する専用の箱をあらかじめ設置。
- ・公園の美化を支援する（市の花等を使う）。
- ・ごみをきちんと出さずにためている家があって迷惑しているので、まちの衛生や安全を守るために、市民の活動に対しても市・県による適切な指導が必要。
- ・美化デーで道路清掃を実施したが事故への補償が懸念され、自治会としては積極的な対応ができない状況となったため、道路の通行止めなどの実施にあたり、行政の垣根をはずして対応してほしい。

●生物の生息環境【環境保全】

- ・座間の3つの河川について生物が棲み続けられる環境の保全をして欲しい。

●環境保全に向けた意識啓発【環境保全】

- ・電気使用量がわかる機械がある、市など自治体で貸し出しを行うこと検討されては。
- ・環境に関する啓発イベントを行う。（イメージはチャリティーコンサート）通常のイベント（ライブや劇）より格安で行う。

●観光の振興【観光】

- ・湧き水のPRをもっとしてほしい。
- ・ロードマップや案内板をしっかりと設置し観光資源となりうるもののPRを行う。
- ・桜並木の利用方法などの今後に対する市の方向が十分に示されていない。周辺住民も含め広く情報の提供に努めるべき。
- ・桜並木と名産品のPR。
- ・これまでの座間の歴史を紐解き観光資源の再確認を行う。
- ・相模川周辺を観光資源として開発したらどうか。

- ・相模川の釣りを無料化する（現在漁業権等で1,000円程度の負担金がかかる）。
- ・有償の観光ボランティアを育成する。
- ・コミュニティバスを観光スポットへ通し交通利便性を確保する。また、コミュニティバスのデザインに関してさらに改良を検討して欲しい。
- ・大凧祭りなどの写真集を市のホームページに掲載し、年賀状に印刷できるようにするなどして市の宣伝をする。
- ・ふる里まつりは交通規制をした上で、パレードを復活して欲しい。
- ・水の大切さ、観光のためにも湧き水巡りでアピールしてほしい。

●産業誘致【工業】【商業】

- ・IT産業やコンテンツ産業の誘致を行う。また誘致に際しては市で税金の優遇など好条件を付与する。
- ・単独のリハビリセンターを見る機会が少ない、医療施設の誘致などを行ったらどうか。
- ・企業に対して太陽光発電助成を。

●農業の振興【農業】

- ・朝市などを活性化し、地産地消を確立できないか。
- ・利用していない土地がかなりある、市民農園として活用できないか。
- ・休耕農地などを集めて、市民農園の規模をこえて職業として農業をやりたい人へ市が仲介を行って農家維持を図る。
- ・大規模な直売所を設ける、地域の農作物の販売促進を支援したらどうか。
- ・地産地消を推進するために農業の保護を行う。
- ・座間でとれた米、野菜のみを使用する地産地消の食堂を作って欲しい。

●商業の振興【商業】

- ・市の核、中心市街地がないため、他市に客が流れている（海老名・綾瀬）と思われる。座間の中心（商業的な意味も含めて）を作る必要がある。
- ・他市から来た人に対するPRが不足している。やはり一番目立つのは駅なのでお店を集約して、そこで大凧や特産品などのPRも行う。
- ・ベンチマークからもわかるように座間市は飲食店数が多い、これを利用して座間駅の再開発を行い食に特化したショッピングモールを作ることを提案する。他市のショッピングモールと違い被服を扱わないこととし、駅前の再開発により移動しなくてはならない商店等を駅ビルのなかに代替として入ってもらう。
- ・B級グルメの市内コンクールを開催したらどうか（報酬を出して全市民単位から意見の募集を行う）。
- ・いっぷく茶屋のようなものを設置する（場所は市で確保し働き手はボランティアなどを使う）道の駅のようなイメージで商品の販売も行い地産地消を図る、コミュニティ形成の場としても利用できる。

●まちの核やアクセス環境の整備【商業】

- ・中心市街地が欠如している。ある程度集約をして市街地をつくって欲しい。
- ・人口や観光客の増加を図り、最終的に座間市内に急行の停車駅をつくって欲しい。
- ・日常的に使用する道路の状態やアクセスが悪い。歩道の整備もしっかり行って欲しい。

●**イベントの開催【観光】 商業】**

- ・人を他所から呼べるような大きなイベントを実施して欲しい。イベントなどの際には、市が音頭をとり、各団体の連携を図って欲しい。
- ・市のPR方法に関する市民討議会を行う。
- ・谷戸山公園の蛍を利用し、クラシックのコンサートを開催する（毎年実施することで自然と根付き、名物になる）。
- ・市は観光案内・イベントのPRを充実させる。

●**ソーシャルビジネスの起業支援【商業】**

- ・自分の特技などを市に登録して仲介するようなシステムづくりをして欲しい。その後は、ソーシャルビジネスのように日常生活に対する介助などを有償で行うことを支援する。
- ・市民の力（ボランティア）をうまく使うために専門のボランティア課を設置する。

●**高齢者雇用の充実【勤労者福祉】**

- ・シルバー人材センターの活用手段を再確認、有効活用を行う。

8. ー未来志向 的確な判断 確かな希望をいただける経営ー

市役所では、目標達成に向けた施策の重点化や財源の有効配分を行うことで経営資源が有効に活用され、柔軟で機動性の高い行政経営が行われています。

また、財政基盤の強化、資産の適切な管理・運用を行うことで、社会経済情勢が激変する時代においても将来にわたり持続的に発展可能な希望をもてる都市となっています。

① 生活像を達成するために必要なこと

市民の役割
<p>●財源の確保に貢献する【財政運営】</p> <ul style="list-style-type: none">・ ブランドを作る（名物の芋、座間の水、大凧、ひまわり）ボランティア（農家の人や商店など人材）。・ 市内の商店（個人）で買い物をする。
<p>●市民でできることは市民で行い、持続可能な財政につなげる【財政運営】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地域活動に参加する。・ ボランティア活動に参加する。・ 公園などの管理を市民の手で行う。・ 美化のボランティア（公園など公共施設の草刈を行う）→ボランティアは有料で。
<p>●市の戦略を信頼する【戦略経営】 【財政運営】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市民は市の政策や財源配分に対し不満があっても我慢する。反対しない。（ただし、市は説明責任を果たすこと）

行政の役割
<p>●市政の基本方針【トップマネジメント】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 箱物行政（ハード）からソフトへ施策を展開する。・ 市長の随行が多すぎるように見えた（中学校運動会でのあいさつで）。
<p>●コスト削減【財政運営】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 合理化を推進し、職員数を減らし、人件費を削減する。リタイヤした市民やシルバー人材の活用。・ 事業 仕事の見直し、無駄な仕事はしない・ 市民まちづくり討議会に関してコンサルタントに依頼するのは費用の無駄。今回は1回目だから理解できるが、2回目以降は不要。・ 財政 コスト削減こしぼって、市民の意見を聞く 討議会を行う（民間のアイデア）。
<p>●財源の確保【財政運営】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市役所大きすぎるので、民間に貸し出したらどうか。・ キャンプ座間の関係で国からの助成金をもっと要求する。・ カムバック日産プロジェクト。・ コミュニティバスについて、業者委託ではなく運転などはボランティア、低報酬で運行したらどうか。

- ・若者の働きやすい環境を整える。
- ・企業誘致を進める。
- ・転入・転出する人にアンケート実施（若者が住まない、転出者が多い）し、人口定着につなげる。
- ・キャンプの返還を進め、民間に貸したり、PFIで公園などの整備を行う。
- ・手数料（住民票）の見直し、水道や下水道料金の改定など、受益者負担の適正化。
- ・核になるものが座間には無いので、核をつくる（座間といえばこれというもの、目玉）り、商業の活性化や人口増加につなげる。
- ・入谷駅周辺の整備（人が集まるような）
- ・過去こある会議こ出席したが、資料が立派すぎる。今回の資料もつたいない（後期基本計画書を配る必要は無いのでは）。

●ボランティア活動の促進【財政運営】

- ・ポイント制、報酬 市の統括など、ボランティア活動が積極的にできるような環境を確立する。
- ・高齢者の活用、市とのタイアップを推進する。

●資産の有効活用【財政運営】

- ・市役所の会議室を市民こも開放し有効利用できるようにする。
- ・いい箱物があるのに使いきれていない。PRが足りない。空いているのに使用料が高く使えない。使用料を見直して欲しい。
- ・情報提供を充実して欲しい。
- ・市役所を中心に色々スタートさせる。市役所に来れば何でもできるようにして欲しい。
- ・ひまわり食堂はイス、テーブルが安っぽくメニューも貧弱なので工夫して欲しい。
- ・現在も行っている図書館の他館から本を取り寄せるサービスを継続して欲しい。
- ・図書館は古くなりスペースや蔵書数も少ない、市役所のスペースを活用し拡張してはどうか。

●資源配分の適正化【戦略経営】

- ・優先順位をつけて効果の大きいものから
- ・誰こもできる仕事は民間やボランティアで
- ・補助（扶助費）をしているものの実態調査を定期的に行う。
- ・思いきった政策をとる→説明責任をはたす。
- ・市民からの税金を有効な施策こ充ててほしい。
- ・定年後の経営経験者の力を生かして、今後の戦略こ生かせる体制をつくる。

●ビジョンの共有【戦略経営】

- ・総合計画（4次計画）において、みんなで何をを目指すのか、みんなで共有できるようにするべき。

9. ー市民起点 柔軟な発想と行動 信頼される市役所ー

市民は、市民起点で柔軟な発想と主体的な行動ができる職員や市役所に対し、十分な信頼感を持っています。

① 生活像を達成するために必要なこと

市民の役割
<p>●市政に関心を持つ【財務管理】 議会運営・選挙</p> <ul style="list-style-type: none">・ 選挙に必ず参加する。・ 行政に興味を持つ。・ 議会を積極的に傍聴する。・ 市の財政状況などに関心を持つ。・ 広報には目を通すようにする。・ 税金(給食代等も含めて)未納者がないように対策を。 <p>●意見や苦情を発信する【職員育成】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市民として感じたことは発信するようにする(窓口サービスや市政の改善につながる)。

行政の役割

●窓口サービスの向上【窓口サービス】

- ・ 市民カードで取れる書類(課税証明等)を充実して欲しい。
- ・ 窓口での同様な資料、パンフレットはまとめてほしい。
- ・ 土曜、日曜こも、例えば住民票発行の書類等を受理してほしい。
- ・ 手続きが煩雑である場合があるので、迷わないような案内や簡潔に済むよう総合窓口の設置などによる手続きの1本化などサービスの充実に努めてほしい。
- ・ どこで何を行っているのかなどの分かりやすい説明が必要である。

●新たな手法による窓口サービスの充実【窓口サービス】

- ・ 公園の遊具が壊れたときなどに対応するような「まずやる課」を設置する。
- ・ 窓口サービスを向上させるためには、施設の予約状況を把握できるようなシステムが必要である。
- ・ 市内で行われる様々なイベント情報を集約し、そこで聞けば分かるという部署を行政で作る。
- ・ イベント課を設置し、月1度程度のイベントの実施と市民からの協働開催等の窓口となる。

●情報資産の有効活用【情報資産の活用】

- ・ インターネットでの情報提供サービス内容の充実と誰でも簡単に受けられる(年齢、経験などに関わりなく)仕組みづくり。
- ・ 観光マップや散策コースなど、もっと市民にPRし、ホームページで見られるようにする。
- ・ 広報紙以外の市民への情報周知の手段を検討し、より多くの市民に伝える工夫をして欲しい。

●職員の待遇改善【職員育成】

- ・ 市役所の窓口対応は良いと思うが、市役所の2階以上のフロアの職員は、市民が来ても声を掛けないことが多く見受けられるが、職員の方から積極的に用件を伺うなどの対応を図ってほしい。総合福祉センターの窓口対応も良くない。
- ・ 職員の言葉遣いなどに不快に思うことがあるので改めてほしい。
- ・ 市役所の仕事はサービス業として、市民に対し丁寧な対応、市民の立場に立った対応をとってほしい。

●職員数の適正化【職員育成】

- ・ 出張所の職員数が、多いように見受けられる。正規職員と障害者の雇用とパートなどの構成で良いと思う。
- ・ 窓口サービスは良好であったが、暇そうな人がいることが見られた。職員数が多いのではないか。

●職員の規律【職員育成】

- ・ 職員の規律ある行動を徹底する。

●議員数の適正化【議会運営・選挙】

- ・ 議員数の削減も必要である。

10. 分野に位置付けられないその他の意見

- ・ コミバスの専門会議の開催について今回の討議会の最終日多数決をとってみてはどうか。
- ・ 目の前の要望陳情ではなく 中長期的問題、共通の問題を中心にまとめた方が良いのではない
か
- ・ 討議会の問題点
飲み物を用意して欲しい(冷やした座間の水)
自治会との連携が弱い
外部の人の参加が無い
PR 不足(議論の前提となる情報の提供?会議開催のPR?)
地図が無い